

- ▶ 神山町では森林環境譲与税を活用して、森林境界の明確化や里山林の森林整備、荒廃林の緊急間伐、獣害対策を実施しています。また、町産材のブランド化を進め、資源の地域内循環を進めています。

□ 事業内容

1 境界未確定の森林の現地調査（森林境界の明確化事業）

- 境界が未確定の森林において森林整備に繋げるため、森林所有者立会のもと境界確認を行いました。

【事業費】 31,322千円（全額譲与税）

【実績】 調査面積609.39ha、境界明確化面積516.97ha

2 林地台帳システム機器更新・改修業務・保守業務

- 林地台帳システムの機器更新を行い、森林境界の明確化事業の成果や山林所有者情報の更新を行いました。

【事業費】 6,798千円（全額譲与税）

3 森林所有者への意向調査の実施

- 旧村の1地区の私有林人工林1512.49ha（10,892筆、1,007人）の森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向を調査しました。

【事業費】 152千円（全額譲与税）※譲与税は郵送料に充当

【実績】 意向調査回答面積 924ha 筆数6,629筆、588人

4 里山林の森林整備支援（里山環境整備保全事業補助金）

- 集落周辺などの里山林を住民自らが施業（伐採・搬出・植栽等）する費用に対する補助を行いました。

【事業費】 5,793千円（全額譲与税）

【実績】 森林整備箇所 16箇所 面積2.79ha



（事業1：境界確認の様子）



（事業4：作業看板設置）

5 神山町林業振興事業補助金

- ・ 造林及び鳥獣防護施設に対して補助を行いました。

【事業費】249千円（全額譲与税）

【実績】人口造林0.75ha、防護柵設置496m

6 小型林内作業車購入

- ・ 自伐林家の施業効率化を図るため小型林内作業車を導入しました。
また、貸出に必要な安全講習を実施しました。

【事業費】2,706千円（全額譲与税）

【実績】筑水キャニコム製林内作業車1台、講習会参加者17名



（事業6：講習会状況）

7 林道・林業専用道の整備

- ・ 林道・林業専用道の開設工事及び管理に伴う重機借り上げ・資材支給を行いました。

【事業費】7,761千円（全額譲与税）

【実績】重機借上3件、コンクリート支給150m³ 8路線、維持工事3箇所

8 専門員の雇用

- ・ 山の意向調査や林業振興施策の推進のため、地域林政アドバイザーを雇用しました。

【事業費】9,075千円（譲与税2,713千円）

【実績】2名

9 森林公園の整備を通じた普及活動

- ・ 神通谷川周辺の水源の確保を図るとともに、里山の景観を保全するため、私有林の集積を図り、獣害対策を実施しました。

【事業費】2,198千円（全額譲与税）

【実績】ワイヤーメッシュ設置 延長514.4m×高さ2m



（事業10：間伐状況）

10 神山町林業活性化協議会補助金

- 神山町林業活性化協議会が実施している、町産材の振興及び川上から川下への取り組み、間伐の推進、啓発活動の運営に対して補助金を交付しました。

【事業費】4,150千円（全額譲与税）

【実績】神山杉HPの運営、緊急間伐の実施 3.64ha

11 神山町町産材認証機構補助金

- 町産材の認証を行い、地域産材の振興に努める団体の運営に対して補助を行いました。

【事業費】53千円（全額譲与税）

【実績】4件232.093m³を証明しました。

12 神山町産材使用住宅新築等補助金

- 町産材の認証木材を用いた住宅の新築等に対して補助を行いました。

【事業費】500千円（全額譲与税）

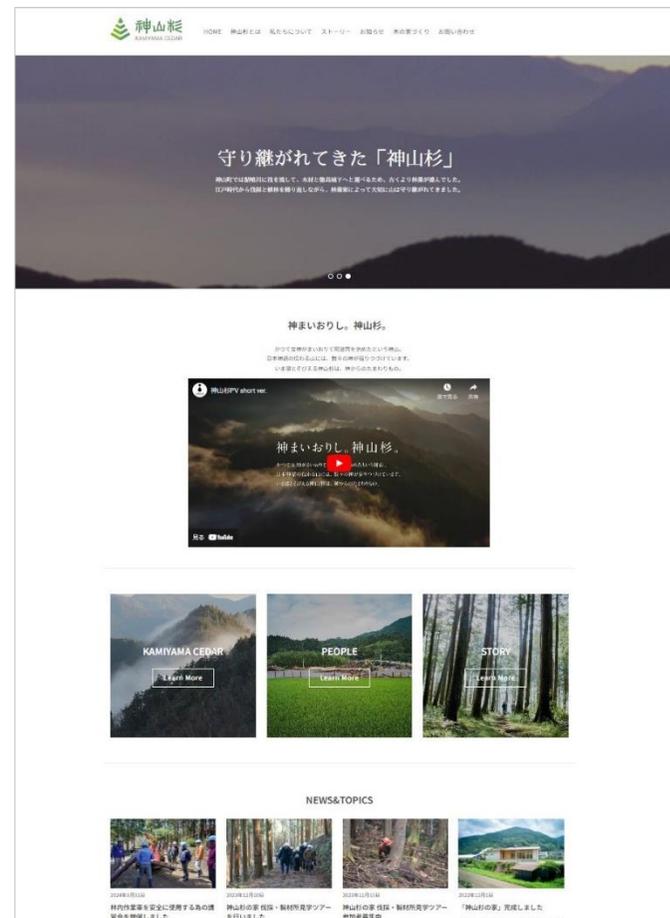
【実績】1件

13 有害鳥獣対策事業

- 森林に被害を与えるニホンジカに対して捕獲班を組織し、捕獲に対して報償費を支出しました。

【事業費】13,350千円（譲与税4,800千円）

【実績】捕獲846頭



（事業10：神山杉ホームページ）

HPアドレス <https://kamiyama-cedar.jp/>

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：50,708千円	②私有林人工林面積（※1）：9,673ha	
③林野率（※1）：85.8%	④人口（※2）：4,647人	⑤林業就業者数（※2）：33人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より